



発行所

東京九嶺宮原同窓会事務局

〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台7-21-26-508

末永俊幸方

電話 090-6943-8065

印刷：泰成印刷株式会社

電話 03-3631-8141

音楽は 心の潤滑油



東京九嶺宮原同窓会

会長 原 武

(宮原9回)

私は、東京九嶺宮原同窓会の大崎会長の後任として昨 autumn に会長の指名をお受けした原でございます。宮原高校を卒業して、今までクラシック音楽畑一筋に仕事をしてきましたので、この大任が務まるかどうか不安ですが、母校やふるさと呉を思う気持ちは遠い東京に居ても変わりません。皆さんの力をお借りして頑張っていきたいと思えます。さて、昨年一年を漢字一文字で書くと、私の場合は「赤」です。まず赤と云えば日本一は逃しましたが、二十五年振りにセリーグ優勝を果たした「広島カープ」の活躍です。そしてサッカークラブW杯で、惜しくもレアル・マドリードに善戦健闘した赤い鹿島アントラーズ、アメリカ次期大統領のトランプのシンボルカラーは赤の共和党、さらにNHKの大河ドラマで五年間で最高視聴率を出した「真田丸」の六文銭の旗印の赤、そして日本の赤ちゃんの出生率は昨年は五年振りにアップしたそうです。まさに赤が輝いた一年でした。ところが反面悲惨な赤も沢山ありました。国の年金積立基金の運用失敗で累積赤字が拡大しました。四月から六月期の運用実績が五兆二千億円の赤字。前年度の赤字を併せると十兆五千億円の累積赤字だそうです。また、赤い血を見る殺人事件もやたら目につく一年

でした。親が子供を殺し、子が親を殺す悲惨なニュースが新聞やテレビのニュースに取り上げられました。また高齢者の交通事故による死亡者も十年間で過去最高となったそうです。通学中の子供たちを巻き込んだ交通事故。そして後期高齢者の交通事故も増加傾向です。まさに世の中は荒んで人が人を信じられない時代になってきました。日本人の心の変化を感じる一年でも有りました。こうした時代だからこそ、人の心に安らぎや労り、そして希望を与えてくれる音楽の普及が必要と思われまます。文字や言葉は人を傷つけますが、音楽はどんなジャンルの音楽も人を傷つける事は有りません。パリのサン・ラザール駅の構内には、一台のピアノが置いてあり、誰でも自由にピアノを弾いて下さい、と書かれています。雑踏の中、誰かが自由にピアノを弾く人が居て、喧騒の中行人の人々にほのかな安らぎを与えていると云います。フランスには他の駅でもかなりの駅にピアノが置いてあるそうです。また、映画もテレビ・ドラマもドキュメンタリーも音楽の無い作品は有りません。その雰囲気音楽に人は感動を深めるのです。そして、音楽は人だけでなく、動植物にも影響を与えます。乳牛にモーツァルトの音楽を聞かせると、乳

の出が良くなる云われていますし、野菜も温室でモーツァルトの音楽を流すと、成長が速くなる、と云う事も聞きます。しかし人間社会では、クラシック音楽のファンは、その町の人口のパーセントと云われています。呉市の人口は約二十三万人ですから、約二千三百人です。このパーセントの人が必ずコンサートに行く数では有りません。CDやFM放送だけを聴く人も含まれますので、コンサートに行く人は二百人を下回ると思います。全国には約千四百のホールが有ります。東京には二千人以上お客が入るホールは九つ、千人以上だと三十、千未満ですと五十のホールが有ります。しかしバブル時代の箱物行政で、行政のトップは、自分の名を残す為に、こぞって各地にホールが出来たのです。しかし、ハードは出来ても、音楽のソフト展開が出来ない、と云う事で、本来の音楽ホールとしての役割は果たせず、イベントや企業の大大会などに使われるホールが沢山あります。パーセントの聴衆では満席になりません。しかし、こうした中、下蒲刈の蘭島閣美術館は、ロビーでコンサートをを行うギヤラリーコンサート島のボランティアの人たちの協力を得て十五年間余り毎月行い、多くのファンに愛され親しまれています。また呉文化ホールは活発な活動で地域の音楽文化の発展に寄与されています。そして呉音楽家協会の地道な活動も意義が有ります。幸い宮原高校を卒業して音楽家として成功している人も沢山おられます。こうした人たちの協力も得て、これからの時代一人でも多くの音楽ファンの数を増やし、音楽が人の心の潤滑油として、優しさや希望が持てる時代になって欲しいと願っています。